

大津島データ 145世帯  
人口 197人 男 82人 女 115人  
高齢化率 80.2%  
(令和4年9月30日現在)

# 潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



馬島地区の小池良太さん、佑香里さんご夫妻

名前は陽太（ようた）で、太陽のように大きく包み込むような優しさを持った人になってほしいなという願いから名付けました。みなさん、仲良くしてもらえれば幸いです。



皆様、祝福のお言葉大変ありがとうございます。  
この度、私たちの夫婦に令和4年9月9日、男の子が生まれました。

## またまたおめでたいぞ



～どんぐりいろいろ、

実りの秋となるように～



撮影日 9月下旬 刈尾～本浦間  
大津島支所 中村 卓広



台風一過の田の浦で、  
大きなどんぐりを  
発見！



## 基地の回天はどのように進められたのか

文：大津島巡航 三崎 英和

11月は回天の追悼式が開催される月ですね。その回天に関しては、いろいろな方が、その実態を明らかにされましたが、まだまだ分からないことも多く存在しています。その一つに、戦後、基地にあった回天はどのように処分されたかということがあります。

大津島以外の基地では、くず鉄として解体処分、海洋での投棄処分などが行われ、洞窟にあった回天は、そのまま爆破処理されたりしています。

では大津島ではどうだったか。以前、その手掛かりを探しに県の文書館へ行ったところ、「兵器弾薬海中投棄作業」という名目の2枚の領収書を発見しました。

その日付は、1枚は不明でしたが2枚目は昭和21年2月18日。1枚目の領収書の受取人は、大津島に住所がある三浦孫一さん他80人で、2枚目も同じく三浦さん他15名でした。



イラスト 三崎 英和

近年、海底から発見された潜水艦の話が、NHKのニュースでも紹介されるなど、海に眠る戦争遺産は貴重なものとなっています。もし回天が沈められた場所が判明したら話題になるだろうと、追悼式を前にあらためて思っています。

そのため、その三浦さんに聞けば処分方法や場所が分かるはずですが、島内には三浦さんという方が住んでいた痕跡は見当たらないようです。いずれにせよ、島内の回天は海洋処分されたことは判明しましたが、それをどこに投棄したのかまでは追跡できませんでした。

## ◆刈尾・本浦間の道路舗装工事

令和4年10月7日（金）15日（土）にかけて、刈尾・本浦間の市道（一部区間）の舗装工事が行われました。



工事後



工事前

皆さん、通行にあたり、ご不便をお掛け致しました。

## ⑦ 夏に「虫」

文：回天記念館 佐伯 孝洋

みなさん、こんにちは。今年の夏は特別暑かったですね。

読まれる頃には、涼しくなっている（寒くなっている）と思うのですが・・・という訳で、夏の思い出を書いてみようかなと思います。

最初に、セミのツクツクボウ音が津島では、早いです。今まで私の経験では、お盆過ぎから鳴き始める、学生の頃は夏休みの終わりを告げる寂しくなる鳴き声でした。こちらでは7月の中旬から下旬には鳴き始めています。それから他のセミも鳴いて、暑い夏が来たなと、汗をかきながら坂道を登ったのが思い出されます。次は、早い梅雨明け。これでは今年の水不足で、農家の方が困るだろうと思っていました。雨降りの日も多く、水不足にはならなかったみたいですね。よく雨も降って、暑い夏であったなと。

また、台風の接近の多さ、中でも7月末には台風5号の接近、私の記憶では、こんなに早い日本への接近は無かったように思うのですが、ところで今、ラニーニャ現象が発生しているようです。特徴は、夏は暑く、冬は厳しい寒さになるようです。寒さ対策をしっかりとして元気に過ごしましょうね。



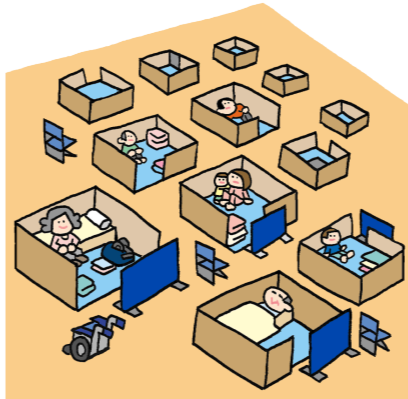
### 避難所を振り返り

文川内山剛

今年の9月は例年よりも山口県への台風襲来が多く、2度程避難所対応をしました。現在、大津島の避難所は海の郷が対応する中、私自身は初めて担当したわけですが、この度は10数名の方が避難されて来られていました。久々の再会に「あんた元気かね？ 幾つになっただ？」「90よ」「何て？ よう聞こえん」と昔話に花を咲かせている場面を見て少しほっこりもしました。

ところで台風と言えば、私が子供の頃台風19号が来襲した際、1週間水不足と停電が続きました。子供ながらに、不便な日が続くなあと感じたのを覚えています。

以前から「地震、雷、火事、親父」は恐ろしいと言われてきましたが、今は長雨による土砂崩れや大規模な浸水の恐ろしさを強く感じます。天気は事前にある程度察知できるので、「ヤバいかも」と想定し心の準備をして、「結果的に大したことなくて良かったね」が理想ではありますが、



イラスト：内山剛

一方でいつかは起こりうる大災害がいざ発生した時にできる事は何だろう？と常日頃から考えておく習慣が必要だなあと感じる機会にもなりました。

### 溝の泥上げ

文川佐々木照彦

### 若潮の会通信

9月8日～11日の拓殖大学の学生の来島期間中の半日、3班(柳ヶ浦班、天ヶ浦班、本浦班)に分かれ、道路側溝



の泥あげを行った。私は関先生を含む6人の精鋭とともに本浦～刈尾間の「けんかば」辺りから本浦に向かって作業を開始。溝をほほほ埋め尽くした泥を一輪車に積んで捨てるという作業の繰り返しです。竹の繁殖力もすごく、溝にまで根を張っていた。若さと体力があり、「えらい！ とも言わず(元々関東人は言わないが)、教えた以上に工夫をして作業をする優秀な学生でした。日陰であったのも幸いでした。高齢化やコロナの影響でこのような活動が思うように出来なかった中での作業だったので、距離はさほど進みませんでした。少しは役に立てたのかなと思



う次第です。感謝です。また、地元からの差し入れもありがとうございます。学生たちは、いろいろな体験を通して地域の実情を知り、この4日間(私は2日半)で何かを感じ取ってくれたのではないのでしょうか。

### 知っかきるがね島の芋

瀬戸内の島は段々畑が頂上まで続き、保水性の乏しい山だった為、夏場はどこも水不足に泣いたものだった。風呂に入るのも遠慮するような日々の暮らしだったが、この水不足の渴いた大地は、サツマイモを甘く濃い味に育てた。

収穫すると、船に積んで本土まで売りに歩いた。みんな「あんたのところの芋でなけりゃあ、美味うない。また、来年も頼みます」と言われたものだ。隣のおばさんが懐かしそうに話していたものだ。

高齢化に猪が追い討ちをかけ、今では島でサツマイモを作っている人はごく少なくなりました。島と言えば芋、芋と言えば島と言われた美味い芋の味も今は無い。ある人が「スーパーで見かけて、余りにも美味しそうで、思わず買ってしまっただけ、これが芋臭くて美味しくなかった」と、嘆いていた。大体、売り物の芋は、きれいに洗って売ってある。昔から芋は洗ったらすく食べんとダメだと言っていた。それを知らないうちの娘も、きれいに洗ってある芋を買ってきて、「なんでこんなに芋の悪い匂いがす



文川松本千恵子

るん」と言いながら、不味い(まずい)芋を半分私にくれたりする。

昔の芋には飽きて、また芋かと思態をついていた自分を叱ってやっていた。あの頃は余った芋はカンピョウと言って、薄く切ってカラカラになるまで干して、焼酎の材料に売ったりしていた。多い家は筵(むしろ)を袋にした様なカマスに何個も出荷していた。芋は中々現金にはならなかった。みんな助かったのではないだろうか。我が家は出せる程作ってなかった。カンピョウといえ、皮を剥いて干したのを、カンピョウ餅にしてくれるものだった。うつつら甘いカンピョウ餅、手間がかかるのに文句も言わず、毎年作ってくれていた。今になっては私も作り方も知らない。こうして、折角の島の味も少しずつ無くしてしまふ。折りがあればどなたかに教えを請いたい気もする。そうそう、芋も色々な種類があるけど、アメリカって言う白い芋や、中が赤紫の小豆芋、農林何号とか、あったの覚えておられるだろうか。



### 島で体操しませんか？

文川渡邊あゆ子

スポーツの秋ですね。島の各地区では、百歳体操をはじめ、しゃっきり体操やその他軽い運動等、おしゃべりを交えて行っています。軽い運動がしたい方、楽しいおしゃべりがしたい方、この機会に参加してみませんか？

- 1. 馬島地区「きらめきサロン」  
内容：百歳体操  
場所：旧馬島公民館  
時間：毎週火曜日 午後1時～  
代表者：渡邊 あゆ子
- 2. 刈尾地区「さわやかサロン」  
内容：百歳体操  
場所：刈尾自治会館  
時間：毎週月曜日 午前9時～  
代表者：石田 久子
- 3. 瀬戸浜区「ひまわりサロン」  
内容：しゃっきり・お手玉他  
場所：瀬戸浜自治会館  
時間：毎月第2、第4金曜日 午前9時半～  
代表者：武田 頼子
- 4. 本浦地区  
内容：百歳体操  
場所：大津分館  
時間：毎週木曜日 午後2時～  
代表者：安達 一江



※活動の内容は各地区で異なります。詳しい内容が知りたい方は、各地区の代表までご連絡下さい。